

ハッピー通信



2025年7月8日発行
25-28号

現場から（最近のニュースから）

成長したいですか



いまはとても変化が激しい時代です。アメリカでトランプ大統領が関税を引き上げると言ったことで経済は揺れ動き、米が高騰したのを防ぐための政策で、あちこち騒ぎになっています。戦争も相変わらず続いている、その影響も少なからずあります。政治、経済だけではなく、自然界も例年とちがう動きなので、農業、漁業に携わる人々は、その変化への対応に追われています。そのように、あちこち大きな変化がある中にいると、「昔はこうだった」という生き方を続けるより、その変化に応じて自分を変えて成長していく必要があると思うことがあるでしょう。自分の成長を願うなら、どうしたら良いのかということを書いた「成長の書」（妹尾輝男著）から紹介している記事がありました。

妹尾氏は、まず、「成長」に対するイメージを問っています。明るい未来や成功といった良いイメージがあるかもしれないけれど、実は成長とは「現状の否定」なのだとされます。つまり、自分が大切にしている「いまの自分」や「ありのままの自分」を壊す行為でもあるということです。そして、この自己否定には必ず痛みが伴うと言われます。その痛みを避けたいと思うのは自然な感情でしょうが、そこに留まる限り、本当の成長は決して訪れないということです。人間にも成長痛があるように、成長には、現状を否定し、変化を受け入れるときに痛みが伴うということです。

また、妹尾氏は、イモムシが蝶になる過程を紹介しています。イモムシはサナギの中ではほとんど細胞組織を溶かして、スープ状になるそうです。この段階では、もはや「生物」と呼べるかどうか怪しい状態だということです。しかし、そのスープ状の原料から細胞分裂が始まり、羽や目、脚といったすべてのパーツが再構築されるそうです。そして、ついに華麗な蝶として殻を破ります。この変態が示すのは、イモムシが自分を徹底的に壊さなければ蝶になれないという厳粛な事実だということです。そのことから、ゼロに戻り、自分自身を新たな形へと再構成する——これこそが成長の本質だと言われています。「ぬるま湯」の快適さに浸っている限り、どれだけ夢や目標を語っても、それは単なる絵に描いた餅に過ぎないということです。成長を本気で追求するなら、現状を壊し、未知の痛みに飛び込む覚悟が必要だと記事では書いてありました。（7月3日現代ビジネスく「自分を徹底的に壊さなければ、イモムシは蝶になれない」…トップレベルのヘッドハンターが語る「成長の本質」>より）

激動の世の中を生きて行くために、変化して成長したいと思うことはありますか。それなら、古いものを捨てていく必要があるのです。しかし、表面的に古いことを捨てて、新しいことに変えようとしても、根本的に自分自身の本質が変わらないかぎり、ほんとうに変わることはありません。変化には痛みがともなうと、痛みをがまんしてがんばっても、本質までは変わることできない場合が多いのです。その本質を変えるには、先に自分の本質について知る必要があります。その本質を知って、その根本からすべてすっきり変える道があります。そのことについて、いっしょに見てみませんか。



救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になり、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快樂に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをして、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれています。隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出しができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に出会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち碎いて勝利なさいました(I ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってくださったことを感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」